

交通バリアフリー教室 in 水戸市立内原小学校

茨城運輸支局では、令和5年10月26日（木）に水戸市立内原小学校の4年生69名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

日時：令和5年10月26日（木）10:10 ~ 11:55

場所：水戸市立内原小学校

参加者：4年生 69名

主催：茨城運輸支局、水戸市

協力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏 [講師]、
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

オリエンテーション

車いす体験 / 介助体験

グループ発表

(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)

まとめ



参加者の感想

- ・車いすの人は毎日このような生活をしていて大変だと思った。
- ・車いす体験の時、周りの人が手伝ってくれて嬉しかった。感謝の気持ちでいっぱいになった。
- ・お客さんに「お手伝いしますか」と聞かれて嬉しかったです。
- ・介助者は、やることがたくさんあって大変だった。
- ・車いすの方にどのように対応すれば良いかとても不安に思ったけど上手く出来て嬉しい気持ちになった。
- ・介助するときは、車いすの人がこわがらないように、かけ声を大切にしたい。
- ・知らない人に声をかけるのは少し勇気がいるが自分がかけてもらって嬉しかったから、勇気を出して声をかけたい。
- ・今度ノンステップバスに乗った時、お手伝いしたいと思いました。



車いす説明



車いす体験



グループ発表